

町内はもとより全国からたくさんの応募があった昨年に引き続き、第2回
こいのぼりデザインコンテストをデジタル、手書き、ぬりえの3部門で開催！
大賞作品に選ばれると、2～4mの大きなこいのぼりになって垂井の空を泳ぎます。
たくさんのご応募、お待ちしております。

応募規定

- 一人につきデジタル／手書き／ぬりえの各部門1点まで。
- プロ・アマ問わずどなたでも応募可能。
ただし、ぬりえ部門は小学6年生までの方限定。
- 手書き部門とぬりえ部門の描画材は色鉛筆、クレヨン、絵具などを使った平面作品のみ。
※シールなど立体作品は選考外。

作品規格

- 応募者の自作であるオリジナル未発表作品に限ります。
- 応募者本人が著作権を保有している、または許諾取得済みの作品に限ります。

審査・発表・表彰

- 審査結果は、入賞者へ直接通知します。
- その他、ホームページ、SNS等で発表します。表彰式および入賞作品発表展を令和8年4月(予定)に垂井町内で行います。

作品の取扱い

- 応募作品は返却しません。
- 応募された作品や受賞作は、オープンデータとして垂井町観光協会のホームページやSNS等で公開します。
- 応募作品の著作権は主催者に帰属します。
- 応募にあたって得た個人情報は受賞者への連絡にのみ使用します。ただし入賞作品発表の際に名前とお住まい(市町村名のみ)を公表します。

郵送による応募先

垂井町観光協会 駅前案内所
〒503-2121 岐阜県不破郡垂井町 1812-10

メールによる応募先

応募専用メールアドレス taruichou@gmail.com

	デジタル部門	手書き部門	ぬりえ部門
作成方法	公式ホームページからテンプレートをダウンロードし作成してください。 ※詳細は公式ホームページをご覧ください。	手書き部門専用応募用紙に、手書きでデザインしてください。 ※応募用紙は公式ホームページからも印刷できます。	ぬりえ部門専用応募用紙を使って、自由に色ぬりしてください。 ※応募用紙は公式ホームページからも印刷できます。
応募方法	垂井町観光協会のメールアドレス(上記)へデータを送付してください。	応募用紙回収箱設置スポット(中面に記載)への持ち込み、または垂井町観光協会(上記住所)へ郵送してください。 ※郵送にかかる費用については、全て応募者が負うものとします。 ※手書き部門とぬりえ部門の応募用紙は、駅前観光案内所と役場産業課にありますのでお気軽にお尋ねください。	



垂井町観光協会
公式ホームページ

垂井が好き！



垂井観光サポーターになりませんか？

垂井町観光協会では、町の魅力を発信したり、歴史の勉強会やウォーキングイベント、街角案内ボランティアさんの養成など、様々な活動を行っています。

相川のこいのぼり一斉遊泳もそのひとつ。

みなさんも観光協会の会員になって、観光を支えるサポーターになりませんか？

一人一人の力が大きな支援になります。詳細は、お問い合わせください。

年会費

1口 2,000円(個人1口以上、個人企業・団体・法人2口以上)
※5口以上の場合、観光ガイドブックに掲載します

最新情報はこちらから



公式 Instagram



公式 X

こいのぼりが泳ぐ景色を守っていききたい！



第2回

たるい相川

みんなであつなく

こいのぼり デザインコンテスト

応募締切

令和7年

8月31日(日)

問い合わせ先

垂井町観光協会

(駅前観光案内所)

tel. 0584-23-2020

9:00-14:00 月曜休み

(祝日の場合は開所・翌火曜休み)

大賞に選ばれた作品が、
大きなこいのぼりになって相川を泳ぎます

あなたのデザイン大募集！

主催：垂井町観光協会
後援：垂井町、垂井町教育委員会

デジタル部門

大賞(1点)… 作品が4mのこいのぼりになる
賞金30,000円

入選(3点)… 垂井みやげ2,000円相当

手書き部門

大賞(1点)… 作品が2mのこいのぼりになる
賞金10,000円

入選(3点)… 垂井みやげ2,000円相当

ぬりえ部門

大賞(1点)… 作品が2mのこいのぼりになる
垂井みやげ3,000円相当

入選(10点)… 垂井みやげ1,000円相当

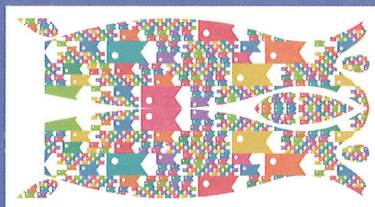
◎ぬりえ部門のみ展示による一般投票
で選出します(公式SNSで告知)

第1回 こいのぼり デザインコンテスト 大賞作品発表！

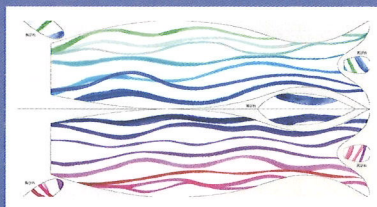
「相川をこいのぼりが泳ぐ景色をこれからも残していきたい」という想いから、昨年初めて開催したこいのぼりデザインコンテスト。初回にも関わらず、埼玉や大阪、沖縄など県外の応募や全校生徒がぬりえ部門に参加してくれた町内の小学校もあり、応募総数が672点にもなりました。その中から選ばれた各部門の大賞作品と、選考会～表彰式までの様子を大公開します！



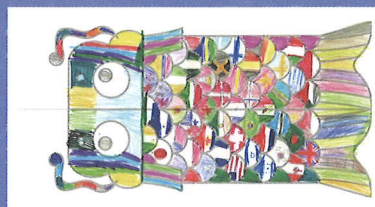
受賞作品がこいのぼりになりました！



デジタル部門大賞
田辺望さん(香川県丸亀市)



手書き部門大賞
小島智子さん(愛知県名古屋)



ぬりえ部門大賞
こっちゃん(不破郡垂井町)



ぬりえ部門 一般投票

ぬりえ部門の応募作品328点を小学生の部と小学生未満の部に分け、令和6年8月中旬から約1ヶ月間ワイフプラザ垂井に展示し、来場者による一般投票を行いました。一番得票数が多かったのは、鱗に国旗が描かれたニックネーム「こっちゃん」の作品。投票にご参加いただいた方々、誠にありがとうございました。

デジタル部門・手書き部門 審査会

デジタル部門143点、手書き部門201点の全作品を会場に並べ、グラフィックアート、デザイン教育の専門家3名による審査を令和6年10月に行いました。「未来へつなぐ、新しいこいのぼり」といった観点から、実際にこいのぼりになって大空を泳ぐ姿を想像しながら厳正に審査を行い、2部門の大賞、入選作品を決定しました。



TARIKI AIKAWA KOINOBORI UP-CYCLE PROJECT 相川こいのぼり アップサイクルプロジェクト

昨年からスタートした「相川こいのぼりアップサイクルプロジェクト」。岐阜市立女子短期大学の協力のもと、どのように製品化されているか少しだけ裏側をお見せします。



① アイデア出し

強風や経年劣化によってダメージを受けたこいのぼり。柄や使える生地、大きさによって何が作れるか、学生さんへ交えてアイデアを出し合います。

② 生地テスト

生地の強度を調べるため引き裂き強度実験を実施。接着芯を貼ることで衣服や雑貨にも使用できることが分かりました。



③ 製品作り

エコバックやポーチ、シュシュなど、相川を泳いだこいのぼりを使った可愛いグッズが生まれています。

こいのぼりの輪 広がっています！



吹き流し用の大きな白い布に、椿デイサービスセンターの利用者さん全員で絞り染めをしてくれました。



宮代地区で活動する「つくるんです」の皆さんが、着物をリサイクルして作り上げた和の風合が美しいこいのぼり。垂井を盛り上げたいという思いから、飾りやすい小さなサイズの着物こいのぼりも制作中です。

思い出インタビュー

「わたしとこいのぼり」

相川のこいのぼりに縁のある方々に、相川への思いや懐かしいお話を伺いました。



不破章雄さん

不動産業を営みながら、観光協会や街角案内の会、垂井宿の歴史と文化を守る会などに所属し、ボランティア活動にも精力的に取り組んでいる。

「桜、伊吹山の残雪、そして相川のこいのぼり。この3点セットはどこにもない垂井だけの魅力」と語る不破さん。54歳で生まれ故郷の垂井に戻り、史跡ガイドなどのボランティア活動の傍ら、垂井に関する新聞記事をスクラップしたり写真をアルバムにまとめています。中でも一番の思い出は、竹中半兵衛公の居城跡や菩提山の調査に関わった岩倉市の方と垂井町をつなぎ、こいのぼりを寄付してもらったこと。岩倉市にはこいのぼりを作る老舗の旗屋があり、五条川でこいのぼりを泳がせる「のんぼり洗い」が春の風物詩。半兵衛が運んだこいのぼりのご縁で、地域を超えて広がっていくことの素晴らしさを感じたそうです。

不破さんのライフワークでもあるスクラップブックは約20冊。駅前の観光案内所に置いてあり、自由に見ることができます。



本田輝美さん、本田美勝さん

相川沿いで50年近く続く理容院「BARBER SHOP HONDA」の1代目と2代目。フェードカットと呼ばれる短髪に定評があり、散髪を理由に帰省するお客さんもいるほど。

店内からは悠々と泳ぐこいのぼりがよく見える一等地。滋賀や愛知など遠方から通うファンも多く、



桜やこいのぼりの時期はお父さんの散髪中に奥さんと子どもは河川敷で過ごしたりとお客さんにも喜ばれているそう。お父さんに思い出を伺うと面白いお話が。「息子が生まれた翌年に目の前の河川敷に竹を使って5mの大きなこいのぼりを上げたら、対岸のお菓子屋さんも同じようにやり出して。実は一斉遊泳が始まる10年前に、相川の両岸にこいのぼりが泳いどったんだわ。」一番最初に相川でこいのぼりを泳がせたのは、本田さんという事実が判明！ 残念ながら、その当時の写真は残っていないとのこと。



竹嶋富美子さん、種子島敦子さん、谷口敏子さん、大田陽子さん

町内の7つの小学校の6年生が将来の夢を寄せ書きする「夢の吹き流し」の制作や、破れたこいのぼりの修理などを行う女性ボランティアの皆さん。

こいのぼりの一斉遊泳は、多くのボランティアさんの力があって今に続いています。今回は事業が始まった頃から関わっている方や1年間で130本のこいのぼりを修理している方など、裏で支える4人の女性に思い出を伺いました。約40年の活動の中でも皆さんが楽しそうにお話してくれたのが、町内の幼稚園を回ってこいのぼりの色塗りをしてもらった時のこと。小さなお子さんにこいのぼりとの思い出を作り「一斉遊泳が後世へと続いていくこと」が皆さんの一番の願いです。「そのために私たちの後継者も目処がついてるの。」と笑顔で話す種子島さん。ボランティアさんの育成にも余念がありません！

みんなで繋ごう！ みんなで守ろう！

不要になったこいのぼりを 寄付してください

遊泳期間が長くなったこともあり、ダメージをうけるこいのぼりは毎年100匹以上。しかしながら、寄付の数は年々減っています。このままでは、相川にこいのぼりが泳ぐ景色が見られなくなってしまいます。ご自宅に眠っているこいのぼりがありましたら、ぜひ寄付をお願いします。

寄付先

垂井町観光協会 事務局 垂井町役場 産業課内
〒503-2193 岐阜県不破郡垂井町宮代 2957-11

こいのぼり デザインコンテスト 応募用紙回収箱 設置スポット

手書き部門、ぬりえ部門の応募用紙の回収を、下記の施設で行っています。期間中にぜひご応募ください。

- 垂井駅前観光案内所
- 垂井町役場 産業課
- 垂井町内の各地区まちづくりセンター